

請 願 文 書 表

蒲郡市議会 平成 29 年 3 月定例会

受 理 番 号	1
受 理 年 月 日	平成 29 年 2 月 22 日
件 名	設楽ダム建設ではない利水、治水、環境保護を求める請願
請 願 者 の 住所及び氏名	蒲郡市三谷北通三丁目 149-2 清 水 芳 卓
請 願 の 要 旨	<p>○請願の趣旨</p> <p>「豊川水系における水資源開発基本計画」（略称「豊川水系フルプラン」）の目標年度は 2015 年度（平成 27 年度）でした。目標年度を過ぎた現時点で、愛知県が水道用水の水源として設楽ダムに使用権を設定したことが正しい政策決定であったのか、また設楽ダム計画の利水、治水、環境の各目的が適正なものであるのかについて、過日シンポジウムが開催され、そこで出された専門家の意見をもとに、私たちは県民の立場から以下のとおり再検証をいたしました。</p> <p>1 利水</p> <p>設楽ダム建設事業の目的の柱の一つは、新規の水源地開発で、ダムの利水容量として水道用水 600 万 m³、灌漑用水 700 万 m³が設定されています。これらは 2006 年（平成 18 年）の豊川水系フルプラン（目標 2015 年）の水需要想定に基づいています。フルプランの需要想定は、水道用水の 2014 年（平成 26 年）の実績 8,500 万 m³/年に対して、1.67 倍の 1 億 4,200 万 m³/年、水道用水と工業用水を合わせた都市用水では、実に 1.9 倍もの過大な予測となっています。新規の水源地を開発する必要がないことは明らかです。</p> <p>灌漑用水については実績が 2003～2012 年の平均で約 1 億 9,300 万 m³/年であり、フルプラン 2015 年需要想定 1 億 7,740 万 m³/年を実績の方が上回っています。いっぽう、耕地面積については実績が 2000 年の 15,277ha から 2015 年の 14,401ha へと減少しているのに対し、フルプランでは 17,800ha と過大な想定がなされています。</p> <p>灌漑用水の取水実績は豊川総合用水事業完成後の既開発水量 1 億 9,710 万 m³/年の範囲内に収まっていますが、この間耕地面積は大きく減少し、減少の大半が灌漑用水を多量に消費する水田であることを考慮すれば、現状は使い過ぎ状態にあることは明らかです。使い過ぎの原因を明らかにし、灌漑用水を減らす工夫をすることを第一に実行するべきです。使い過ぎを放置して新たな水源ダムを造ることは、栓の抜けた風呂桶に水を汲むのと変わりありません。豊川用水の 65%は灌漑用水が占めていますから、この節水の工夫こそ、水源対策の最も重要な課題であり、渇水対策の切り札になるものと判断されます。</p>

2 治水

一般に、ダムによる洪水調節は確実ではなく、ダムに頼って他の対策がおろそかになる危険性があることが指摘されています。上流のわずかな流域面積をカバーするにすぎない設楽ダムに治水を頼ることは危険であり、遊水地の保全や、河道整備と堤防強化を優先させることが必要です。

3 環境

設楽ダムでは、有効貯水容量 9,200 万 m³ の大半 65% を「流水の正常な機能の維持」のために充て、降水量の多い暖候期に貯水し、河川水量の少ない時期に放流する計画となっていますが、これにより河川流量の変化が乏しくなり、また、三河湾の夏季の海水交換を衰えさせ、貧酸素水塊の発達や、青潮被害を拡大させると推定されます。湾内の潮流にも影響を及ぼし、アサリの浮遊幼生の分散にも影響が出る恐れがあります。また、ダムの堆砂により、川床の砂礫や三河湾の干潟・浅場の砂の減少も避けられず、生態系や漁業資源への影響は深刻になると考えられます。奥三河の森が生み出す清流寒狭川（豊川上流）は、多様で貴重な生物をはぐくみ、観光の目玉ともなり、また、三河湾の環境を守るのになくてはならない海への贈り物であります。設楽ダムは清流寒狭川の自然を確実に破壊します。

以上のとおり、利水、治水、環境のあらゆる面からみて、設楽ダムの建設が愛知県民にとって利益になるとは到底考えられません。設楽ダムを水源とすることで、県営水道料金や、かんがい用水の負担金の値上げは避けられず、今後長期にわたって県民の負担は増大します。また、建設地には断層があるとの専門家の指摘もあります。このように問題の多いダム建設は見直すべきです。

○請願の事項

以上を踏まえて下記の内容の意見書を愛知県に提出するよう求めます。

1. 専門家が建設地に断層が見られると指摘するなど、問題が多いこの計画を見直してください。
1. 愛知県は、設楽ダム貯流水に設定した水道用水の使用権を取り下げてください。
1. 灌漑用水の使い過ぎの原因を調べ、豊川用水の節水に取り組んでください。
1. ダム事業優先を止め、豊川下流部の堤防強化や遊水地対策を進めてください。
1. 奥三河地域の森と清流を活かした持続可能な地域振興を支援してください。
1. 日本一のアサリなど、三河湾の漁業資源と生物多様性の保全に取り組んでください。

付託委員会

総務委員会

紹介議員氏名

日恵野 佳代